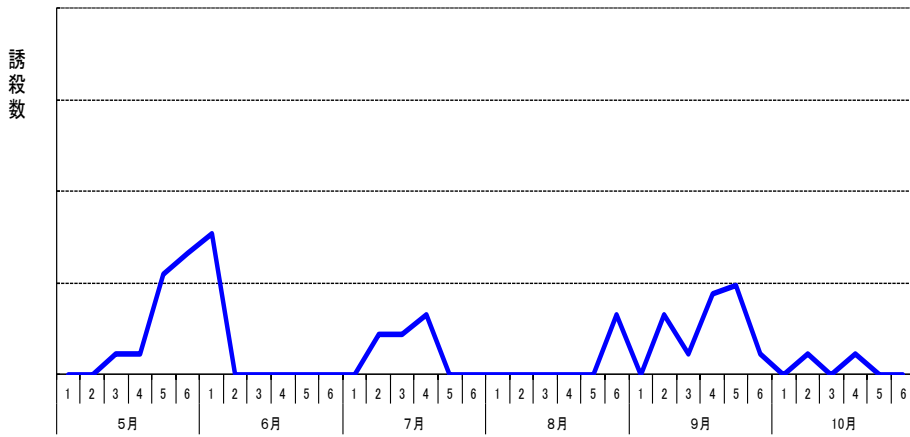


リンゴコカクモンハマキ誘殺消長

リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（2019年調査）

試験場予察ほ（過去10年間の消長模式図：果樹試験場内）

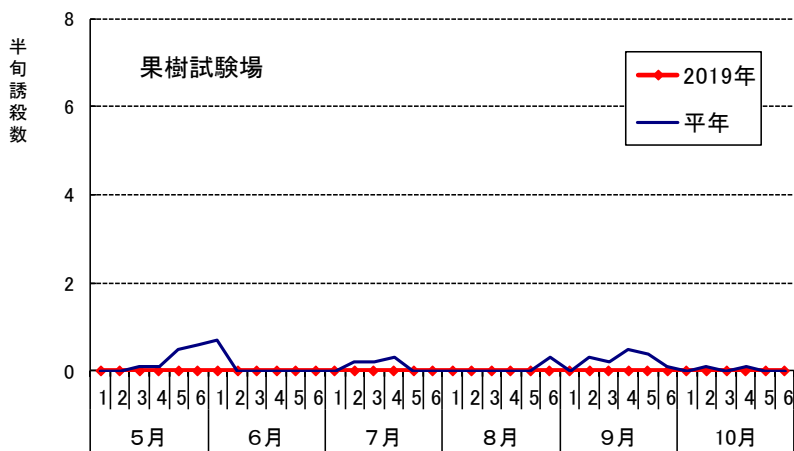


【発生生態と防除のポイント】

（標高約350m）

- ・平坦部では年3回発生する。
- ・越冬世代成虫は5月下旬～6月上旬に発生する。
- ・第1世代幼虫は6月中旬から発生し新梢の先端の葉を綴って食害する。成虫は7月中旬～下旬に発生する。
- ・第2世代幼虫は、7月下旬～8月中旬に発生し、果実への加害が始まる。成虫は8月下旬～9月下旬に発生する。
- ・第3世代幼虫は、9月上旬頃から発生し、密着した葉と果実の間に入り、果実に鉛筆の先端で突いたような食害を残す。2～3齢になると越冬に入る。
- ・適期防除が重要であるので、フェロモントラップを用いてそれぞれの地域の発生消長を把握することが重要である。

試験場予察ほ（果樹試験場内：須坂市）



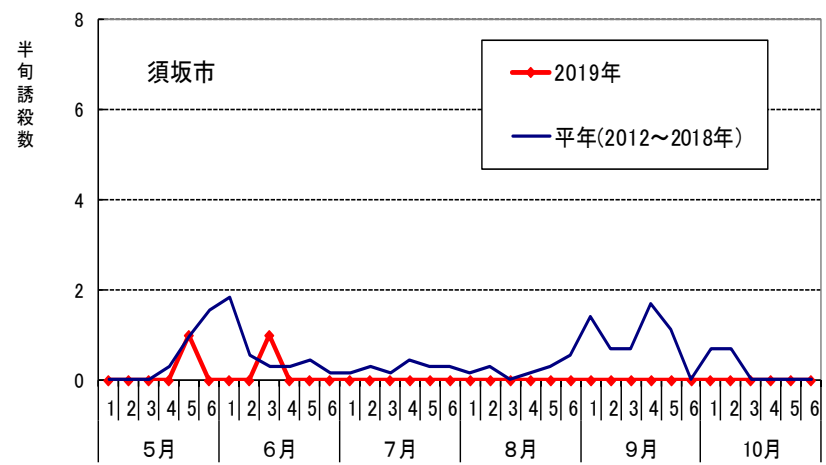
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市果樹試験場内リンゴほ場

【コメント】

- ・平年は2009年～2018年の平均値。

須坂市（病害虫防除所調査）



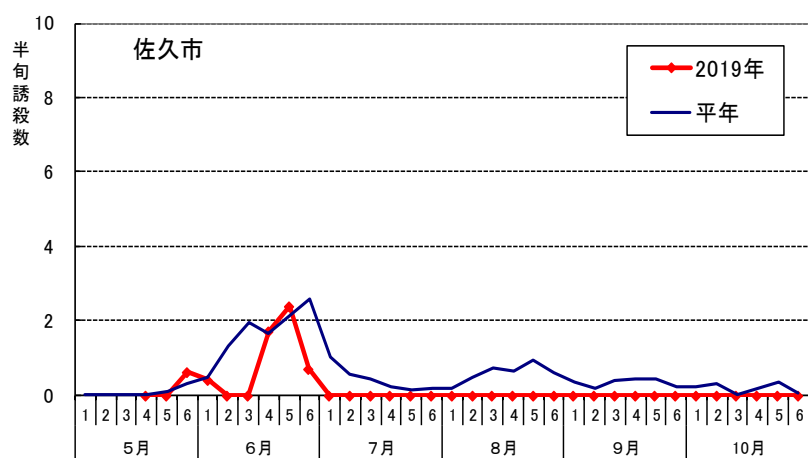
【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市のリンゴほ場

【コメント】

- ・平年は2012年～2018年の平均値。

佐久市（佐久農業改良普及センター調査協力）



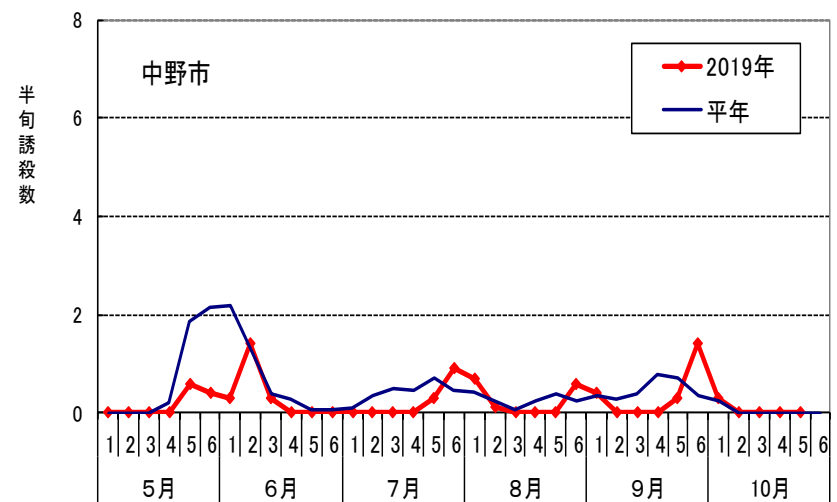
【調査地点】（標高約680m）

- ・佐久市のリンゴほ場

【コメント】

- ・平年は2009年～2018年の平均値。

中野市（北信農業改良普及センター調査協力）



【調査地点】（標高約450m）

- ・中野市のリンゴほ場

【コメント】

- ・平年は2009年～2018年の平均値。